

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 354 事業名 薬事監視事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	○
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		衛生費	
	項		保健衛生費	
	目		保健所費	
	大事業		保健所事業	
	事項		薬事監視事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	1	生活衛生対策の推進

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間		～	
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	総務企画課	瀬崎 典男 (433-2261)	
関連課			

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	該当せず	○
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他	その他	その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	医薬品等の適切な販売が実施されるようにもた、薬事法を遵守されるように監視・指導を実施する。	薬局、店舗販売業に関する許可申請や届出の受付及び定期的な立入検査及び新規開設時に立入検査を実施する。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		医薬品等販売店に立ち入り、その構造設備、帳簿書類、その他の物件を検査し、若しくは従業員その他の関係者質問を行う。	医薬品等販売店に立ち入り、その構造設備、帳簿書類、その他の物件を検査し、若しくは従業員その他の関係者質問を行う。	薬局・医薬品等販売店に立ち入り、その構造設備、帳簿書類、その他の物件を検査し、若しくは従業員その他の関係者質問を行う。	薬局・医薬品等販売店に立ち入り、その構造設備、帳簿書類、その他の物件を検査し、若しくは従業員その他の関係者質問を行う。	

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費	285	265	326	300	389	243	335			
	伸び率 (%)	-	-	14.4%		19.3%		-13.9%			-100.0%
	人件費	常勤職員	6,319	6,327	6,327	7,697	6,327	10,240	6,327		
		非常勤職員									
		小計	6,319	6,327	6,319		6,319	10,240	6,319		
	国庫支出金										
	県支出金			50	50						
	市債										
	その他	680	1,580	1,535	1,106	1,535	2,264	1,535			
	一般財源 (税等)	-395	-1,315	-1,259	-856	-1,209		-1209			
	所要人数	常勤職員	0.82	0.9	0.9	1.02	3.9		3.9		
非常勤職員		0	0								

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	立入件数	年度目標値							
		実績値				66	280		
	単位	全体目標値	全体目標達成度						
	許可件数 (新規及び更新)	年度目標値							
		実績値				18	74		
単位	全体目標値	全体目標達成度							
成果指標	施設監視率 (監視実数÷監視施設数)				年度目標値	100	100	100	100
					実績値	53.6	41.3		
	単位	%	全体目標値	100	全体目標達成度	53.6%	41.3%		
	医薬品販売施設の不良率 (不良項目総数÷ (18項目×施設数))				年度目標値	0.05	0.05	0.05	0.05
					実績値	0.059			
	単位	%	全体目標値	5	全体目標達成度	84.7%			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価(所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	薬事法に基づく事務のため、現状のまま維持継続する。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	